

# 議場でひとこと 22名の町民が参加

答Ⅱ役場の担当者を通じて、主催者であるクリーンタウン音更の会に伝えたい。

問Ⅱ「くらしと防災ガイドブック」にある非常時の持出品は事前に用意しておく必要がある。訓練も含めて役場中心で取り組みを。

答Ⅱ総合防災訓練での防災グッズの展示なども参考にしてほしい。町で実施している避難所運営ゲーム（HUG）や冬季避難所宿泊体験訓練、出前講座も活用してもらいたい。

問Ⅱパークゴルフ場に、屋根やイスがあつて涼める場所を作つてほしい。

答Ⅱ河川敷地を利用したパークゴルフ場のため課題も多い。他町村の実態も確認し、委員会で論議したい。

問Ⅱ町民アンケートでは、町内に住み続けたい人が90%いるが、駒場地区は大きく下回っている。駒場地区にコンビニと簡易スタンドの設置を。

答Ⅱ音更高校生からもコンビニ設置の要望があるが、関係者の協力も必要。駒場住民の想いが一番大事。

問Ⅱひびき野会館の運営委員を務めている。利用者が年々増えて、消耗品の消費量も多くなっている。利用

## 実績型の運営交付金を

問Ⅱ民生委員を務めているが、社会福祉協議会から本来業務ではない、ひとり親家庭への図書カード配付の依頼がある。配付時に何回も訪問し受領印をもらうなど負担が大きく、社会福祉協議会が行つてほしい。

者数に応じた実績型の運営交付金の支給を。

答Ⅱ消耗品の不足や修繕には対応できるが、運営交付金の件は委員会で協議する。

問Ⅱ鈴蘭公園からは帯広市しか見えないので樹木の間引きを。鳳乃舞の北側の土地に放置車両があるので、管理について検討を。学校付近で不審者が多い。警察署の設置について、議会や住民による陳情活動も必要。

答Ⅱ貴重な意見であり、町と取り組んでいきたい。

問Ⅱ駒場地区には町内唯一



議場でまちづくり質問

の高校もあり、凝縮した街。議会でも、貴重な区域であることの認識を。

答Ⅱ駒場地域の重要性は認識している。総合計画の次のステップに入るときは、地域性や振興策を含め十分議論していく。

問Ⅱ帝織北海道の土地は、国道と隣接しているため、景観を考えてほしい。

答Ⅱ社有地であるため、以前から粘り強く町への売却を交渉してきた。これまでも同様の意見があり、先方にも伝えている。

## PG利用料を無料に

問Ⅱパークゴルフ場の利用料金を無料にできないか。

答Ⅱアクアパーク以外の5か所は有料。無料化については、利用者負担の観点から必要との意見もある。受付業務を行う雇用の場でもあり、今後の課題として委員会で検討する。

常任委員会で議論、協議するとされた内容については、その経過を今後の議会だよりに掲載していく予定です。

## 編集後記

新たな年を迎え、昨年を振り返ってみると、農業は、十勝JA取扱高が、3388億円と過去最高を更新しました。まことに喜ばしい限りです。畜産が堅調に加え、台風で被災した農地を国、道、市町村が連携して復旧を進め、畑作が回復したためと発表されました。しかし、本町では昨年、台風により土砂崩れが発生しました。災害で油断は禁物。今後も、不断の備えが必要だと思います。

議会では昨年12月「地方議会のあり方調査特別委員会」を立ち上げました。この委員会は、議会と議員の現状と他の自治体議会の実態等を調査し、町民が望む理想の議会・議員のあり方について提言するものです。私たち広報委員会も「議会だより」が、町政と茶の間をつなぐパイプ役として、読みやすく分かりやすくなるよう、更なるパワーアップに取組みます。

編集副委員長 松浦 波雄

